

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年1月23日

事業所名 チャイルドサポートうらそえ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		2	部屋や時間をずらして学習や個別をおこなっている	放ディの机と椅子が足りない
	2	職員の配置数は適切である	6	1	1	スタッフ不足の場合は那霸事業所と連携してヘルプ要請を行っている	基本足りているがスタッフ休みで足りない時がある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	3	安全面を配慮して声掛けをしながら活動を行っている	段差がある
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			朝、昼のMTGを毎日行い児童や学校などの情報共有を行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	3			・評価表を全体で周知して改善に努める
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	4	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2	1	保護者参加型の行事を行い、アンケートなどで意見を頂き課題解決を行っている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			外部講師やリタリコなど事業所だけではなく、会社全体で情報を共有し研修の時間を確保している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	2	週1で活動についての検討や立案を行っている	チームで行うこともあるが、活動リーダーに任せてしまうことがあるので、活動のMTGで他のスタッフに活動内容を共有しみんなで声をかけ合って行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		1	・グループ分けなどで個々のレベルに合わせている ・子ども達がやりたい活動も組み入れている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2		・公共施設や地域のイベントの利用をしている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1		・昼MTGで当日の流れやグループ分け、担当など共有事項を確認している	・支援目的まで共有していく ・活動内容変更があった場合スタッフの確認不足がみられるのでお互いの声かけで内容確認をおこなっていく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3	1	終了後はできていないが、毎週金曜には振り返りを行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	1	次の支援につながるように記録をとっている	

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8				
	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6	2			

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	1		・朝のMTGで送迎確認や学校での情報を共有している ・送迎時などに保護者から情報共有を頂いている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	1	1	・定期受診後に保護者との情報共有で伝えて頂いている	主治医とのカンファレンスが必要
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	2			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	1			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	4			活動の一環として児童館へ行くが、学童や保育園などとの交流できる行事などをしていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っている	8				
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			・相談に応じ、みんなで必要な助言を考え支援を行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8				行なっているが、参加が少ない ・たくさんの保護者の方に参加して頂けるよう月に2日設定を実施してみる ・個別面談を組み込んでいく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			・問題解決に迅速に対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1			
	35	個人情報に十分注意している	8				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3	2		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	4			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		・保健防災委員会やプロジェクトなどで計画し行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1		・外部講師で年に2回行い全員が研修できるよう時間確保されている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1		・対策を話し合うのはもちろん1か月後に振り返りも行っている	